令和6年度長崎県福祉のまちづくり賞 受賞者一覧

活動部門

2団体

名称	受賞者（団体）	所在地	受賞概要
working share Hi-ho! （ワーキング シェア ハイホー）	社会福祉法人 遊歩の会 理事長 橋口 幸恵	長崎市	障がい者の就労支援として、福祉施設内の就労の場ではなく、地域に開かれた形でカフェを運営している。 地域に開かれた場所で、より地域とのつながりを強くし、障がいのある人もない人も交流ができる居場所となっている。
グループホーム 壱岐の郷 デイサービスセンター まごころ	有限会社 弦観光 代表取締役 長岡 英雄	壱岐市	高齢者のグループホーム及びデイサービスを運営され、定期的にイベントを開催し、地域の方と交流しながら地域の輪を広げている。 家庭的雰囲気を出しながら、地域密着を最優先に活動運営しており、身寄りのない方や独居老人の方に手を差し伸べ、「誰一人忘れられることなく、取り残されることなく」を実践している。

製品部門

2団体

名称	受賞者（団体）	所在地	受賞概要
「COMMO」シリーズ （コモ シリーズ）	白山陶器株式会社 代表取締役社長 松尾 聡	波佐見町	「だれもが使いやすく、快適に食事が楽しめる事」を考えた食器。 小さな子供、高齢者及び身体の不自由な方が食事がしやすくなるよう、「すくう」という動作を誘導し、やさしくサポートするフォルムとなっており、食卓で楽しい食事の時間を共有できることを重視したデザインやコンセプトとなっている。
「motte」シリーズ （モッテ シリーズ）	有限会社 アイユー 代表取締役社長 小柳 勇司	波佐見町	障害者用プロダクトデザイナーや家具小物プロダクトデザイナーと共同で開発された食器。 子どもや身体の不自由な方が使いやすい福祉的観点のほか、すべての人に使用してもらうため、同じ食器で食卓を楽しむことができるようデザインを工夫し、日常的観点も取り入れられている。